

令和8年3月17日 議長挨拶（速報版）

※暫定的なものであるため、今後訂正される場合があります。

○議長（中本隆志君） 以上をもちまして、今次定例会に提出されました案件は、ここに全て議了いたしました。

各位におかれましては、開会以来、本日まで29日間の長期にわたる会期を通じて、終始格段の御精励を賜り、令和8年度当初予算をはじめ、条例その他の重要議案について、慎重審議を尽くされ、いずれも適切な結論を得られましたことは、県民福祉の向上と県勢伸展のため、誠に御同慶に堪えません。

さて、我が国の経済は、米国の通商政策の影響が残るものの緩やかな回復基調が続いているものとされており、今月9日に厚生労働省が公表した1月の毎月勤労統計調査によると、実質賃金も、前年同月比で13か月ぶりにプラスに転じたところであります。

しかしながら、先月末に発生した米国、イスラエルとイランとの軍事衝突は、周辺国も巻き込みながら、長期化の様相を呈しており、原油価格の高騰などの懸念から、一部では、国民生活にも影響を与え始めているなど、経済的にも不透明感が高まっています。

本県におきましても、こうした国際情勢や物価等への影響を注視し、国の諸施策とも呼応しながら、県民の皆様の生活を支えていく必要があります。

また、深刻化する人手不足への対策を機動的に講じるとともに、中小企業等に対する生産性向上や賃上げ環境整備に向けた設備投資などの取組を支援するほか、企業の成長を後押しする取組などにより、景気回復への道筋もつけていかなければなりません。

さらに、地域の経済活動の縮小や活力の低下につながる人口減少、とりわけ若者の転出超過は、本県の最重要課題の一つであり、県内企業の魅力発信や先端・成長産業の育成と集積、広島ならではの楽しみや遊びの充実を図ることで、地域の魅力を高め、若者の定着・回帰につなげていく必要があります。

加えて、県民の食生活を支え、地域の維持や県土の保全などの観点からも重要な役割を果たしている農林水産業について、農地の集約化と再整備、地域で担い手が育成される仕組みづくり、気候変動に対応したカキ生産等の対策など、生産力の再生・強化に取り組み、持続可能な農林水産業の確立を図っていくことも重要です。

このほか、米国とロシアの核軍縮合意、新戦略兵器削減条約の失効、核抑止のためフランスが保有核弾頭の増強を表明するなど、核兵器廃絶と恒久平和の実現が危機に瀕する中、被爆地広島のみならず、果たすべき役割は、これまで以上に高まっています。

先ほど可決した令和8年度当初予算は、こうした課題などに注力する内容となっており、本県の持続的発展にとりまして、極めて重要であります。

県当局におかれましては、これまでの審議の過程で議員各位から述べられた意見等に十分留意されますとともに、職員のコンプライアンスを徹底していくことで、県民の信頼を回復し、諸情勢の変化にも的確に対応しながら成果を上げられますよう、切に願う次第であります。

県議会といたしましても、県民の安全・安心の確保を図るとともに、県勢の持続的な発展に向けて、全力で取り組んでまいります。

令和8年3月17日 議長挨拶（速報版）

※暫定的なものであるため、今後訂正される場合があります。

これをもちまして2月定例会を閉会いたします。